

令和7年度 第2回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和7年9月16日(火) 午後2時～午後4時54分	
開催場所	西尾市役所 41会議室	
出席者	【会長】	
	日本福祉大学	千頭 聡
	【副会長】	
	西三河農業協同組合	黒野 善久
	【審議会委員】	
	一色さかなセンター株式会社	鳥居 正之
	西尾市観光協会	山本 吉明
	株式会社キャッチネットワーク	天野 栄
	西尾信用金庫	樫山 幸彦
	社会福祉法人せんねん村	木下 典子
	一般社団法人西尾市スポーツ協会	内藤 貴久
	【事務局】	
	総合政策部 部長	西尾 隆治
	総合政策部秘書政策課 課長	石川 哲
	総合政策部秘書政策課 課長補佐	稲垣 淳一
	総合政策部秘書政策課 主任主査	杉浦 祐嗣
	総合政策部秘書政策課 主査	村松 宏昭
	総合政策部 専門委員	杉戸 厚吉
	【交付金対象事業関係者】	
	交流共創部スポーツ振興課 主任主査	左右田 明
	交流共創部スポーツ振興課 主任主査	岩瀬 康伸
	交流共創部観光文化振興課 課長補佐	高須 俊晃
	交流共創部観光文化振興課 主査	高須 健輔
	交流共創部観光文化振興課 主査	松崎 真幸
	産業部商工振興課 主査	小林 直文
欠席者	【審議会委員】	
	西尾商工会議所	磯貝 剛
	西尾公共職業安定所	手島 政志
傍聴者	1名（報道機関3名）	
内容	1 開会	
	2 あいさつ 秘書政策課長の進行 総合政策部長あいさつ ご多用のところ、審議会へのご出席をいただき誠にありがとうございます。日頃より本市の取組に多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。 まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少や少子高齢化など、地域が直面する課題に対応し、住み続けられるまちづくり、働きやすい環境の整備、人材育成を通じ地地域の活性化を図り、持続可能な社会をめざすものでございます。本市の人口は2020年をピークに減少傾向にあり、この状況を踏まえて、本市の地域	

特性に即した対策を早急に講じることが求められています。本日は現行の課題を見据えながら、皆様から多様な意見や提案をいただきながら、次期の総合戦略の基盤を構築していけたらと考えています。限られた時間ですが、忌憚のないご意見を賜り、活発で有意義な審議会となりますようよろしくお願いします。

2 議題

(1) 令和6年度取組状況について

【千頭会長】

今日は議題(3)に時間がさけるよう、協力をお願いします。

《資料1》

事務局より説明

《資料「デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)」実績一覧》

各担当課より説明

【千頭会長】

資料1について、ご意見・ご質問をいただきたいがいかにか。

【黒野副会長】

新規就農者等支援業について、両方の補助をいただくことはできず、内数での扱いになるのではないか。

【事務局】

担当課に確認する。

【千頭会長】

佐久島の渡船利用者数の減少等について、佐久島を巡る環境はいかがか。

【事務局】

佐久島に限らず、屋外のレジャーについては、気候変動の影響で観光客が減少しているという話を聞いた。

【鳥居委員】

職場から船乗り場を見ていると、明らかに来訪客は減っている。

暑すぎるというクレームがあるようだが、どうにもできない。

【山本委員】

佐久島の海のきれいさは全国23番目という評価はあるが、いかんせん暑すぎる。

観光協会としては、外国人の宿泊者数がKPIになっているが、西尾市内での宿泊は、有名な観光地の中間点・宿泊地としてのみ機能している状況があるので、その状況で、KPIにするのが妥当かは疑問である。

【千頭会長】

「デジタル田園都市構想交付金(地方創生推進タイプ)」実績一覧についてもご意見をいただきたい。

【山本委員】

繁忙期の時期のイベント(例えば、にしおマラソンや吉良の花火など)だと、観光協会が宿泊施設の部屋を仮押さえしてしまうと、通常で宿泊してくれる方を妨げてしまう。繁忙期のイベントと宿泊のセット販売をするのは適さない。

逆に、閑散期に宿泊とバスツアーをセットにする企画するなどを考えてはどうか。

【樫山委員】

ニコラボについて、相談の回数制限がないなかでゴールの設定を明確にしてはどうか。

【事務局（商工振興課）】

相談の回数制限はないが、専門家が入る場合は、案件ごとにやり方やここまですをやったらゴールというものを設定している。

【天野委員】

観光プロモーションについて、動画の再生回数が 500 万回というのは相当な数字だが、一方で外国人は、本市を中継点としての利用や、人気の抹茶だけ買って帰ってしまっている。回遊性を持たせるなど集大成としての施策のお考えはどうか。

【事務局（観光文化振興課）】

抹茶は非常に強いコンテンツになっている。この 2 年かけて動画作成を行い、SNS で年代や性別などターゲットを絞って PR をした。今後は回遊施策を考えるときの参考とし、市内事業所とも連携して取り組んでいきたい。

【内藤委員】

マラソンは市外から多くの方に参加してもらっている。しかし、参加者は 1 人参加ということもあり、吉良の宿泊施設（4 人部屋など）とマッチしていない。マラソン大会参加者を宿泊対象のターゲットとするのではなく、マラソン参加をきっかけに、西尾というまちの良さに気づいてもらい、改めて家族旅行に来てもらうのが良いのではないか。観光とスポーツを絡めて施策を打っていったらいいのではないか。

e スポーツについては伸び悩みが指摘されているなか、地域のコミュニケーションの手段として、高齢者に向けた脳の活性化など、e スポーツを活用した施策をしたら良いと考える。

【木下委員】

健康ツーリズムの事業は、事業経費が小さいのではないか。

【事務局】

総合的な設えとしている。

【木下委員】

内容的にはいいことだと思いますので、実績値がもっと増えてもいいなと思う。

【千頭会長】

スポーツの枠組みを外してみると、いろいろな取組ができるのではないか。

佐久島でもスタンプラリーをデジタル化しながら進めるとどうか。意外に安価でできる取組でもある。

【鳥居委員】

水産業について、陸上養殖のスタートアップ企業の視察に行ったら、循環型のプラントをつくっているが、興味を示している事業者が西尾市内の自動車部品の企業だった。

漁業の担い手不足への対策として、市内のものづくり事業者との連携・マッチングをしつつ、漁港の敷地を活用して養殖プラントをつくるのが面白いのではないか。循環型の養殖プラントはエコであり、見学ツアーなどで観光資源になり得る。また、養殖した魚はふるさと納税の返礼品にもできる。産業が出来るのではないか。観光人口創出にもつながる。水産業を核に企業誘致や、観光、食育、インバウンドも呼べるため、様々な活動につながるのではないか。

ただ、陸上養殖は赤字が多い。プラント事業に参画している事業者は、魚のプロであり、資本を出している企業はモノづくりのプロだけど、魚を売ることに關しては素人。売り先を決めてから養殖する必要がある。養殖は資源がないところから育てるため、資源の面では持続可能である。

【千頭会長】

陸上養殖はこれからのキーワードになっているようだ。知多半島でも大手資本が取り組んでいる。

売り先を決めるのは海も山も同様のことだと感じた。

【千頭会長】

地方創生の取組について、効果があったということを確認してもよろしいか。

⇒異議なし

(2) 地方創生 2.0 基本構想について

【千頭会長】

つづいて、地方創生 2.0 について説明をお願いしたい。

《資料 2》

事務局より説明

【千頭会長】

議論するところは少ないが、西尾市と関連することなどがあれば、ご発言をいただきたい。

東京一極集中の是正については、当初からずっと言われてきたことだが、未だに是正できていない。ということで、国の考えを片隅においていただきたい。

(3) 第 3 期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略のベース案について

【千頭会長】

第 3 期の総合戦略のベース案について、分けて説明をさせていただきたい。

《資料 3 (第 1 ～ 3 章)》

事務局より説明

【千頭会長】

どこからでも結構ですが、ご意見・ご質問はいかがか。

【山本委員】

若者や女性に選ばれることをポイントだと思うが、若い女性を減らさないようにするのか、結婚・出産を迎える女性を惹きつけるようなことを狙いにするのか。

【事務局】

若い女性の市外へのあこがれを止めることは難しいので、一旦市外に移ってから、結婚・子育てをするなら戻って来たいと言っていたきたい。

【山本委員】

本市は製造業が多いため、どうしても就職のタイミングで、男性は市内に就職をするが、女性は市外に就職してしまっている。

【千頭会長】

5 年毎に人の動きが見えればダイナミックに見えるのではないか。

【天野委員】

農林漁業の従業者数は統計的に把握しているが、農業はあるのに漁業の生産額がない。

【事務局】

可能な限り探す。

【樫山委員】

これからの産業を議論するのであれば、D XとG Xを必ず入れ込んでいくべきである。

【事務局】

ご指摘のとおり対応する。

【樫山委員】

基本目標3 3-3「質の高い」という言葉はわかりにくい。変更してはどうか。

【事務局】

ご指摘のとおり対応する。

【千頭会長】

K G Iについて、ご意見いかがか。

例えば、市内従業者数だけで、基本目標1の達成状況を表すことができるかは難しい。人数を増やすということは大事だが、産業構造の転換を考慮すれば、数だけで評価できるか疑問である。1つの目標に対して2つぐらいKGIがあった方がよい。

K G Iは概ねよろしいか。

⇒異議なし

【千頭会長】

引き続き、ベース案の4章部分について、分けて説明をさせていただきたい。

《第4章デザイン、資料3（第4章・基本目標①）》

事務局より説明

【千頭会長】

主に、K P Iと具体的な施策について、ご意見をいただきたい。

【黒野副会長】

1-1のタイトルは気に入っている。

水田以外の農産物は、水利権の関係で十分に確保することが課題になっている。

I TをI C Tに変える方が望ましい。

【黒野副会長】

農地の多面的機能についても是非記載していただきたい。

【鳥居委員】

水産関係者としては、周辺と比べると西尾市の漁業（一色漁港）は悪くない状況にある。三重県は地球温暖化で海水温が上がって、餌が減ってしまい、5年前に比べて水揚げが50パーセントダウンしている。

コロナ禍を経て、ユーチューバーの影響などもあり、一般のお客さんの認知が向上し、売り上げも増加している。コロナ禍ではスーパーの調子がよく、地産地消で地元の天然魚が高値安定しているため、悪くない。

	水揚げ時の取引価格（浜値）が県内でも全国的にも高いため、他のエリアの漁師が獲れた魚を持ってくるくらいである。一色漁港は愛知県で1番、浜値が高い（魚の値段が高い）ためである。 今は、環境が悪くないが、将来的な展望をすると、製造業の資本が水産業に参画すれば、より強固な産業になるのではないかな。 後は、育てる漁業で養殖した魚を、海外に売れば、大きな売り上げが期待できる。 海苔の入札の現場にも行ったが、西尾市の海苔が他より4倍、5倍の高値で取引されていた。西尾の海苔の品評会でも日本一になっている。西尾市の評価が高いことを考慮すると、いい面を伸ばす、PRすることができればいいのではないかな。 【天野委員】 「製造業に従事する人材の多様化」という言葉のイメージは、外国人就労者のことか。ミスリードを避けるために丁寧に記載する必要がある。 歩きたいまちなかにするための空き店舗活用支援は、地元の消費ではなく観光的なターゲットを見据えないとスクラップ&ビルドが繰り返されるだけになっている。 その辺りの照準を明らかにする必要がある。 【千頭会長】 基本目標2以降、KPIと具体的な施策について、端的に説明をいただきたい。 《資料3（第4章・基本目標②）》 事務局より説明 【千頭会長】 基本目標2について、ご意見をいただきたい。 【山本委員】 KPIについて、宿泊者数を吉良温泉のみではなく、全市にしてはどうか。 また、来訪者の少ない部分の定義も分かりにくく、現状分析についてももう少し具体的な記載がある方が良い。 【内藤委員】 観光の統計調査に外国人宿泊者の項目があるのではないかな。 【天野委員】 Instagramが7年後SNSのメインになっているとは限らないので、表現を再考してはどうか。 【事務局】 検討する。 【樫山委員】 2-2-1 親世代との同居・隣居を促進するというのは、突然出てきた印象があり、かつ時代に逆行しているように感じるが、いかがかな 【事務局】 子育て世代が祖父母世代の支援を受けて子育てをする層を支援するイメージである。 【千頭会長】
--	---

	他市でも親との同居を推進する施策もあるようだ。 2-3-3 で記載されている二拠点居住は、西尾市を主・従どちらのイメージなのか。 【事務局】 風光明媚な場所である本市を活かしたものを想定している。 《資料3（第4章・基本目標③）》 事務局より説明 【木下委員】 カラフルやKIBOUなど、民間事業者の取組を記載して良いのか。 【事務局】 入れてきたい。 【千頭会長】 3-4-1 質の高い教育、不登校児童などの表現を再度検討するように。 K P I、3歳未満児の受入れ数は増やすつもりなのか。 【事務局】 一度、担当課に確認する。 《資料3（第4章・基本目標④）》 事務局より説明 【千頭会長】 ご意見はいかがか。 【樺山委員】 K P I 図書館の貸出カードの登録率を指標にすると、現状値でゴールなのではないか。他の指標にして取り組んだ方が良い。 【事務局】 一度、庁内で調整する。 【千頭会長】 「日本語が話せないベトナム人が増えています」は再考すべき。 【事務局】 修正をする。 【千頭会長】 気になるのは、幅広く網羅されている印象があり、4-3タイトルが大きくなりすぎている。実態は行政サービスの利便性や環境、図書館を含む生涯学習であり、言葉だけが先行してしまい、担当課の取組はこれまでと変わらないということになりかねない。 タイトルはチャレンジングでいい取組だと思うが、庁内で上位目標のためにおこなっているんだという意味統一が重要である。 3 その他 【千頭委員】
--	---

	総合戦略の案について、次回審議会（11/27）で市長に答申予定であるが、前回と同様でいいか。 議事録を付すのに加え、今後委員各位から寄せていただくご意見を議事録に準じるという形にしてよろしいか。 ⇒異議なし。 次回、冒頭で修正案を説明と議論をいただき、市長に答申するという流れでよろしいか。 ⇒異議なし。 【事務局】 パブリックコメントについて、12月末から1月末に実施予定であるので、ご承知いただきたい。 【事務局】 黒野委員からのご指摘（新規就農者等支援事業）について、担当に確認したところ、補足・訂正が必要である。 【千頭委員】 訂正したものを次回提示していただきたい。 これをもって、第2回審議会を終了する。 16時54分閉会
--	---